

わたしたちの経験においてキリストを建造し、
わたしたち自身の救いを成し遂げる

聖書：ピリピ2:12-16

- I. ノアが建造した箱船は、神の救いとしての実際的な現在のキリストの予表です。箱船を建造することは、わたしたちの経験において神の救いとしての実際的な現在のキリストを建造することであって、それは団体のキリストとしてのキリストのからだを建造するためです。ピリピ人への手紙によれば、これはわたしたち自身の救いを成し遂げることです——2:12-13：
- A. 箱船を建造することは、わたしたち自身の救いを成し遂げることです。それはわたしたちの経験においてキリストを建造することであり、キリストのからだ、団体のキリストを建造するためです。
- B. ノアが造り、入ったのは、神の救い、すなわち箱船でした。わたしたちは実際的な現在のキリストを持つべきであり、わたしたちは神の救いとしてのキリストの方の中へと入ることができます。
- C. 箱船はキリストの予表であり、それは個人のキリストを予表するだけでなく、団体のキリスト、召会、すなわちキリストのからだと新しい人を予表します——創6:14. I コリント12:12. エペソ2:15-16. コロサイ3:10-11：
1. 箱船を建造することは、団体のキリストを建造することを予表しています。それは、建造の材料としてのキリストの豊富の要素をもってであり、神と共に働く人たちによってです。これはわたしたち自身の救いを成し遂げることです——I コリント3:9-12前半. II コリント6:1. エペソ3:8-10. 4:12。
 2. ノアは箱船を建造し、またその中へと入ることによって、洪水による邪悪な世代に対する神の裁きから救われただけでなく、またその世代から分離されて、新しい時代へともたらされました——創8:13-19. I ペテロ3:20。
 3. 同様に、わたしたちの経験において実際的な現在のキリストを神の救いとして建造して、召会を建造することと召会生活の中に入ることによって、大患難による今日の邪悪な世代に対する神の裁きから救われます(マタイ24:37-39. ルカ17:26-27. I テサロニケ5:3)。そして、その世代から分離され(ルカ21:36. 啓3:10)、新しい時代、すなわち

千年王国の時代へともたらされます。

- D. ピリピ第2章12節の救いは、罪定めと火の池からの永遠の救いではなく、日ごとの、絶え間ない救いであって、それは生けるパーソンとしてのキリストです。わたしたちは永遠の救いを得ていますが、曲がったよこしまな世代からのさらなる救いを必要とします——15節。
- E. 今日、わたしたちは神の救いの道にいます。わたしたちはこの道の中へと入りました。わたしたちがこの道を経過することとは、わたしたち自身の救いを成し遂げることです：
1. ノアは箱船を建造すればするほど、ますます神の救いを経過しました。そして最終的に、彼は自分が成し遂げたものの中へと入りました——創7:7。
 2. 今日、わたしたちが経験において建造しているキリストは、わたしたちの将来の救いとなります。ある日、神の主権の下で、わたしたちは自分が建造してきたキリストの中へと入ります。
 3. 今日できえ、わたしたちが経験においてキリストを建造するなら、わたしたちはキリストの中にとどまり、キリストの中に住むことができます——ヨハネ15:5：
 - a. わたしたちの経験においてキリストを建造することは、主を愛すること、彼の御名を呼び求めることによって彼に語りかけること、彼と交わり、毎日、毎時、彼によって生き、彼と共に歩いて、神と「共に歩く者」となることです。それによって、わたしたちは神の同労者となることができます——創5:22-24. 6:9。
 - b. こうしてわたしたちは経験においてキリストを建造します。それによってわたしたちは、わたしたちの救いとしての彼の中へと入ることができます。
- F. ピリピ人への手紙の四つの章はすべて、わたしたちの救いとしての、すべてを含む、キリストの生けるパーソンに言及しています：
1. ピリピ第1章において、救いは、どのような境遇においてもキリストを生き、キリストを大きく表現することです。
 2. ピリピ第2章において、救いは、命の言を提供することによってキリストを反映することです。
 3. ピリピ第3章において、救いは、神の義、すなわち、キリストにおいて具体化された神ご自身です。
 4. ピリピ第4章において、救いは、真実であり、誉れがあり、義であり、純粋であり、愛らしく、好評であり、徳と称賛に満ちた生活としての

キリストご自身です。

II. ピリピ人への手紙の各章は、わたしたちの日々の救いとしてのキリストの特別な面を提示しており、わたしたちが経験においてどのようにキリストを建造して、わたしたち自身の救いを成し遂げることができるかを、わたしたちに啓示しています——3:12-13. 参照、ハバクク1:1 :

A. わたしたちはキリスト・イエスの心の深みを経験することができます——ピリピ1:8, エペソ5:25, IIコリント12:15, Iヨハネ3:16。

B. わたしたちはキリストをわたしたちの生活として、彼を大きく表現し、彼の表現となることができます——ピリピ1:19-21前半, ヨハネ6:57, ガラテヤ6:17-18。

C. わたしたちはイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給をキリストのからだの供給として経験することができます。入獄は、パウロをキリストのからだから隔離したり、からだの供給から断ち切ったりはしませんでした——ピリピ1:19, ヨハネ16:13。

D. わたしたちはキリストの思いをわたしたちの思いとすることができます——ピリピ2:3, 5, 参照、エペソ4:23, ローマ12:3。

E. わたしたちはキリストを内側で活動する神として、またわたしたちの主観的な救いとして経験し、彼を命の言として提供することができます——ピリピ2:12-16。

F. わたしたちはキリストを経験して、注ぎのささげ物となることができます——17節。

1. 注ぎのささげ物は、神の御前で真のぶどう酒として注ぎ出されて、神を満足させた方としてのキリストを予表しています——出29:40-41 :

a. キリストはぶどう酒を生み出す方であり、ご自身を犠牲としてささげてぶどう酒を生み出し、神と他の人たちを活気づけます——士9-12-13。

b. わたしたちがこのキリストと接触し、彼の犠牲にする命を経験するならば、彼はわたしたちに活力を与えて犠牲の生活をさせ、ぶどう酒を生み出して、他の人たちと主を幸いにさせます——IIコリント1:24後半, 参照、5:13-15。

2. 注ぎのささげ物が予表しているのは、キリストご自身であるだけでなく、天的なぶどう酒としての彼ご自身をもってわたしたちに浸透するキリストでもあり、ついに彼とわたしたちは一になって、神の享受と満足のために、また神の建造のために注ぎ出されます——マタイ9:17, ピリピ2:17, IIテモテ4:6 :

- a. 注ぎのささげ物は天的なぶどう酒としてのキリストの予告であり、彼はささげる人によって享受され、その人を満たして、神へのぶどう酒とならせます。
 - b. 注ぎのささげ物は、主がわたしたちとなる程度にまで、わたしたちが彼と一にされる主観的な経験です。
 - c. わたしたちはキリストをささげ物として経験すればするほど、ますます注ぎのささげ物となります——民15:1-10。
- G. わたしたちはキリストを獲得し(勝ち取り)、彼の中に見いだされることが出来ます——ピリピ3:7-9前半. エペソ3:8. 創15:1. IIコリント12:2。
- H. わたしたちはキリストを、わたしたちの生かし出された義とすることが出来ます——ピリピ3:9後半. 参照、イザヤ64:6. マタイ5:20. 啓3:18. 19:8。
- I. わたしたちは啓示と経験の両方においてキリストを主観的に知ることが出来ます——ピリピ3:8, 10. 2:2. 3:13。
- J. わたしたちはキリストをわたしたちの目標とすることが出来ます。それは、わたしたちが彼をわたしたちの賞として享受するためです。わたしたちの目標はキリストを獲得することですから、わたしたちは他のすべてのものを放棄して、キリストだけを追い求めるべきです——12-14, 7-8節。
- K. わたしたちはキリストの中でわたしたちの喜びを維持することが出来ます——ピリピ4:4. ヘブル13:15. 詩119:164:
- 1. ピリピ人への手紙は、キリストを経験し享受することに関してであり、喜びという結果になるので、それは喜びと歓喜に満ちた書です——1:4, 18, 25. 2:2, 17-18, 28-29. 3:1. 4:1, 4。
 - 2. 「わたしは自分の喜びを維持していますので、心配なさらなくてください。あなた自身も気を付けて、心に喜びが満ちますように」——1972年にウオッチマン・ニー兄弟によって彼の義理の姉に獄から書かれました(「今の時代における神聖な啓示の先見者ウオッチマン・ニー」第21章)。
- L. わたしたちはキリストをわたしたちの謙虚溫柔さと美德として経験することが出来ます——5, 8節:
- 1. 謙虚溫柔であることは、わたしたちが行なうことや言うことによって他の人たちがどのように影響を受けるかを考慮することです。謙虚溫柔さは、他の人たちを取り扱うことにおいて理にかなっていること、思いやりがあること、考慮することであり、合法的な権利を厳格に要

求しないことです。

2. わたしたちの思い煩いは、あらゆる必要、あらゆる要望を神にもたらすことによって、また彼と会話することによって、謙虚溫柔さに変えられることができます。会話することは、わたしたちと神との間に行き来があることを暗示しており、この行き来、すなわち、わたしたちと神との間の交わりによって、わたしたちは神聖な分与を享受します。
3. ピリピ第4章8節においてパウロは六つの美德を提示しており、それはキリストを生きる生活を表現しています。これらの美德は、神の具体化であるキリストを追い求める者たちの内側から生かし出された神の属性の表現です。

M. わたしたちはキリストをわたしたちの秘訣として学ぶことができます——11-12, 6-7節：

1. パウロはどのような境遇においても十分であること、満足すること、満ち足りることの秘訣を学びました。この秘訣は、実はキリストご自身です。
2. パウロはキリストを経験する秘訣、すなわち、あらゆる事において、またあらゆる場所において彼を経験することを学びました——12節。
3. パウロはキリストに回心した後、キリストの中に、またキリストのからだの中に入りました(秘密結社に入門するという意味)——使徒9:3-19, 25-28. 22:6-21. 13:1-4。
4. 彼は、どのようにしてキリストを命とするか(コロサイ3:4)、どのようにしてキリストを生きるか(ピリピ1:21前半)、どのようにしてキリストを大きく表現するか(20節)、どのようにしてキリストを獲得するか(3:8, 12)、どのようにして召会生活を持つか(1:9, 19. 2:1-4, 19-20. 4:1-3)の秘訣を学びました。

N. わたしたちはキリストを、力づける方、すなわち、わたしたちを動機づける方、わたしたちの内側の動機づける力とすることができます——13節：

1. 力づける方としてのキリストについてのパウロの言葉は特に、キリストがわたしたちを力づけて、彼をわたしたちの人性の美德して生きさせ、それによって彼の無限の偉大さにおいて彼を大きく表現させることに適用されます——8-13節。
2. わたしたちはキリストが力づけることによって、満ち足りた生活をすることができ、また真実で、誉れがあり、義であり、純粹であり、愛らしく、好評であることができます——11-12, 8節。

○. わたしたちはキリストをわたしたちの期待とすることができます
——3:20-21:

1. パウロがキリストを経験することにおいて生きた生活は、救い主、主イエス・キリストを待ち望む生活でした。彼はパウロの卑しい体をも変貌させ、それを彼の栄光の体に同形化してください。
2. 信者たちが栄光化へと至ることは、命における神の救いの頂点であり、神のエコノミーを完成して彼の願いを満足させることです——Ⅱコリント3:18. 4:17. ヘブル6:1前半. ローマ5:10後半. 啓21:10-11。

©2010 *Living Stream Ministry*